

会 議 録

会議の名称	潮来市男女共同参画審議会（第2回）
開催日	令和2年3月3日（火）
開催時間	午後2：00～
開催場所	潮来市役所3F 第1会議室

議 事 の 経 過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	<p>1 開会</p> <p>2 新委員紹介</p> <p>3 会長あいさつ</p> <p>4 議 事</p> <p>(1) 潮来市第2期男女共同参画基本計画策定に伴う市民意識調査アンケート集計結果（速報）について</p> <p>(2) 潮来市第1期男女共同参画基本計画の実施状況報告について 〈秘書政策課 事務局より、資料に基づき説明〉</p> <p style="text-align: center;">意見・感想・質問など</p>
A 審議委員	<p>DV が多くなっています。母子家庭が、多いからかと思われます。ストーカーなどもあると聞いています。DV 相談の認知度が、足りないということですが、広報紙は見ない人は全く見ないので、行政として大変だと思うが、情報誌なども検討してほしい。</p> <p>若い人のデートDVなどの啓発も必要です。相談員も同じ人が、長期やるのではなく、公募形式で、若い相談員を登用してほしい。また、相談は子育て支援課で担うのではなく、パートナーの問題もあるので、子育て支援課では相談しづらいこともあります。男女共同参画を推進している担当課に戻した方がいいのでは。</p>
事務局	<p>担当課や相談員については、今後、検討していきます。周知については場所や時間を教えることはできないので「ある」ということの周知を進めていきます。</p>
B 審議委員	<p>市民意識調査アンケート集計結果資料2ですが、P16 ページの0.0の表示の色がないためわかりづらい。色合いを変えられるのか。下表の色もちょっと見づらい。性年齢別で最も高いものを色付けしてほしい。色付けするなら、文章でそのことについて説明してほしい。</p>

コンサルタント	表の色付けは、文章の中にあるものを便宜上つけています。今回の資料は、市民にそのまま出すものではなく、この会議のためにご用意したものです。また、グラフの色付けは、全てのグラフを統一して順番付けし掲載しております。選択肢の数によっては、難しくなります。
事務局	色については、調整していきます。
会長	DV 防止の担当課は、子育て支援課なのですね。
A 審議委員	他市などでは、男性の相談員もいます。どこも相談員が高齢化しています。男性の被害者もいますから、男性の相談員も必要です。
会長	行政として禁止命令とかはできないので、どこまで手を伸ばすか。予備軍に対応するとか、スタンスを明確にした方がいいですね。
A 審議委員	内縁関係にある場合もあるため、子育て支援課に相談することをためらうことがあります。相談内容は、多様化してきています。相談窓口は、男女共同参画担当課で行っていただきたい。
会長	子育て支援課では「女と子ども」の話になってしまうかもしれません。DV 経験の結果を見ると男性も多い。質問の文言において「日常的に」と追記する配慮も必要だったかもしれません。
A 審議委員	アンケートの結果を見ると男性の被害も結構あるということですね。
会長	アンケートグラフの色については、学校の教科書も色覚多様性に配慮しているので検討してください。
事務局	検討いたします。
C 審議委員	自由記入の中で、貴重なご意見もあります。このアンケートの結果は、どのように市民に知らせるのですか？ ホームページは、自分で探さないと行きつけないので、フェイスブックや SNS などで発信していくことはいかがでしょうか。拡散していく意味では公表したほうが良いと思います。
事務局	策定にあたっての資料ですので、アンケートの内容については、課で協議し、審議会の内容とともに公表していきます。
C 審議委員	フェイスブックで、潮来市が男女共同参画に取り組み、市民意識調査アンケートを実施し、貴重な意見がありましたということを公表する。興味のある方は、ホームページをご覧くださいという誘導になればいいと思います。 また、相談窓口が浸透しないということについては、広報紙やホームページを活用して周知する必要があるのではないのでしょうか。若しくは、出前講座としてこの事業内容について説明し浸透させていくのか、SNS の活用とか工夫があってもいいのではないかと思います。
事務局	総合戦略の中で情報の出し方については、いろいろな意見が出ています。今のご意見については、検討させていただきます。
C 審議委員	意見を書いた人たちに「他の人たちは、この様に思っているんだ」ということが伝わればいいと思います。そうすることで、その人たちがさらに興味を持ってくれるのではないかと思います。

事務局	フィードバックは、必要だと思います。発信の仕方について検討していく必要があります。また、要約したものを公表したり、講演会で活用するなど発信方法については、検討していきます。
会長	情報の公表については、基本的に広く公表しないということですか。
事務局	このままというわけではありませんが、見やすい形で公開していきたいと思います。
D 審議委員	「教育で男女共同参画の成果が上がっている」ということですが、具体的にはどうい うところが感じたのですか。社会に活躍している人たちからも男女共同参画の成果が 見えたということは、教育の方でも男女共同の成果ということでしょうか？
事務局	アンケート問 26 のウですが、学校において人権への取り組みも行っているので、そう いうところから判断いたしました。
D 審議委員	学校ではどのようなことを通してこのような成果が出たのかというのが知りたいで す。
会長	この調査結果において、40%が平等ということで驚いています。前の調査ではいかが ですか？
事務局	学校においては、人権に関する教育推進事業に取り組みを行っており、人権（男女共 同参画含む）に関しても小・中学校の授業カリキュラムに盛り込まれて実施しておりま す。このような状況を鑑みて、総合戦略の計画内においても男女共同参画の取組みを位 置付けております。 前回との比較については、平成 13 年度に実施したアンケート内容項目が無いため比 較することはできませんでした。
会長	家庭や職場と比べてということですね。
A 審議委員	教育の場であれば、ポスターの掲示や、強化月間の標語などを募集することもきっか けづくりになりますので是非、検討していただきたい。
事務局	検討いたします。
E 審議委員	問 14 については、仕事と家庭生活については、理想は「両立」ですが、現実には「仕 事優先」ということになっています。問 11 では、「賃金、昇進、昇格」という自分の給 料に直結することがあげられています。しかし、問の 13 の働きやすい社会ということ では、子育てに直結することの意見が多くなっており、逆に「昇進、昇格」は少なくなっ ている。一見すると矛盾するような結果ですが、これは、あくまでも個人の経済に対す る感覚と夫婦や家族の子育て感覚のずれ、本音と理想が違うということだと思います。 子育てするには、お金が必要であり、潮来市の総合戦略の中でも課題としてあげられて いたことと関連します。男女共同参画基本計画を単独で考えるのではなく、総合戦略と リンクしながら、いろいろな課題と施策、例えば「子育ては総合戦略でこの様に取り組 みます」という明確な戦略を打ち出すことができると感じます。
事務局	総合戦略等と連携しながら進めていきたいと思います。
会長	昇進、昇格と考える人は正規職員だと思います。アンケートに答えた方はパートの方 も多いと思います。そのあたりはいかがですか。
事務局	職業については、問 10 で質問しています。男性は、ほぼ正規職員であり、女性につ いても約 6 割が正規職員です。

	40代、50代については、パートが多くなっています。無職については、70代以上です。自営は9.4%でした。
会長	資料21のP15ページの結果は、全体として、男女別に表していますか。
コンサルタント	勤め人とパートなどをまとめて、男女別に表しています。
会長	問26は、男性が優遇というのが多いようですが、「優遇」とは何だろうと思います。男性の方に負担感がある。優遇をどのように考えているのか。県の調査にもあるので、この表現でも仕方ありませんが。どのような気持ちで答えられたのか。自由意見でも男性は消防団で大変とかの意見がありました。どういう風に理解したらいいのか迷いますよね。
E 審議委員	男性の方が優遇という感覚についてですが、うちの会社は一部上場の会社ですが、幹部クラスになっているのは、全て男性です。事業部の部長クラスで、ぎりぎり女性がいるのですが、それ以上はおりません。他の民間会社も多かれ少なかれそういうことがあると思います。
会長	一部では、女性活躍ということで女性の登用が偏っていると意見もあります。
E 審議委員	一方では、完全に男女の性別まったく関係ない、能力があればすべて優遇するという会社もある。優遇とは、給与や役職（実力主義）であるということです。そういうところは、この男女共同参画の理念からちよつとずれたところがあると思います。
会長	男女の実力（能力）といっても、5時まで実力と、どうしても5時に帰らなくてはいけない女性の実力、24時間働けますという男性の実力においては、評価基準が難しいですね。大きな課題だと思います。
F 審議委員	<p>優遇については、家庭では、女性優遇というのは、多いと思います。その方々は、専業主婦の方が多いいのかなと思います。また、役割分担意識に同意される方も多いということがわかりました。多様な立場の方もいることがわかりました。</p> <p>法律や制度、地域活動、学校教育以外はどちらかといえば男性の方が優遇というのが、ほとんどだという印象です。</p> <p>アンケート結果の全体をみて、第1期で計画した7つの柱については、なかなか実現できていない社会情勢なのかと感じました。実現するためには、一つひとつ、解消していくようなプロジェクトが必要だと感じました。アンケート回答の中でも「わからない」という意見も多い中で、意識啓発は、重視する必要があると感じました。</p> <p>今まで培われてきた学校教育や生涯学習、男女共同参画の取組については、仕事と家庭の両立の環境整備の充実の部分において、強化する必要があるのではないかと感じました。</p> <p>また、ひとり親の支援、キャリアアップなども大切だと思います。幼少期からの男女共同参画における知識を持つことは、今後のワークライフバランスを構築するため大事なことだと思います。一つひとつ整理して啓発していく必要があると思います。</p>
B 審議委員	リーディングプロジェクトとは、何ですか。観光のまちづくりには、違和感があります。
A 審議委員	前回、計画を策定した時に観光事業には女性が意見を言えないということがありました。潮来は、観光がメインだから、女性の意見をという意味でした。
B 審議委員	第1期の重点事業であり第2期においては見直しする。また、DVについては、やはり多いと受け止めるべきだと思います。みなさんの主観で答えているわけですから、小

事務局	<p>さな町で、この結果は、重い数値だと思います。</p> <p>しっかりと受け止めたいと思います。</p>
G 審議委員	<p>DV に関しての問は、県の調査と同じような内容、順番ですか?DV の具体的内容を知ると多くなると思います。</p>
事務局	<p>今回の調査においても県調査と同じ内容と順番で実施しました。</p>
会長	<p>では、次に移ります。</p>
(説明)	<p>(3) 潮来市第 2 期男女共同参画基本計画策定の進め方について 〈秘書政策課 事務局より説明〉</p>
	<p>意見等なし</p>
	<p>(4) その他 事務局から特になし</p>
事務局	<p>5 閉会</p>